

第2回臂曲岩石採取事業監理委員会の概要

日 時 平成23年8月3日 14:00~15:45

場 所 採石場、しらい自然館

出席委員 地元集落等委員：12人、川越工業：4人、山形県：5人、遊佐町：2人
計23人 傍聴者：3人

主な協議内容

(1) 採石場の確認（沈砂池の配置、掘削状況など）

(2) 沈砂池の改良、泥水対策の説明（川越工業）

（質疑事項）

委員：沈砂池の整備は6/23~24の大雨後か。

川越工業：その前に完成していた。

委員：大雨後に浚渫したとのことだが、どの程度の堆積だったか。

川越工業：50センチぐらいだった。

委員：6月23日以前も含めて横堰の泥濁りが発生。通常ならばささ濁りだ。泥水が流れてくる以上、沈砂池のあるなしではない。実質的に有効な沈砂池でなくては意味が無い。

山形県：6月24日に現地を巡視している。そのときは、採石場から排出される直前の水はささ濁り状態。沢に入って横堰の合流点までの間で、濁りが強くなっていた。採石場から直接泥水が流れているとの認識にはなっていない。

委員：林道脇の素掘り側溝で泥水が流れていた写真もある。

遊佐町：採石で裸地となっているので泥水が流れる可能性はあるのではないかと。雨の状況を見ながら対策をとっていただきたい。

山形県：6月の大雨の後に確認したが、沈砂池に相当の土砂がたまっていた。もっと深くするようにと指導し、会社が対応した。流量等計算上は対策が取れているとの認識にある。しかし、現場の状況により沈砂池の拡大などの対策をとることは必要であり、可能だと思う。

川越工業：大雨が降った場合など、県の指導に基づき対応していく。

山形県：6月23日~24日の状況を再度スタッフに確認して、指導・監督の立場で検討させていただきたい。

川越工業：道路については、泥水が発生しているとの認識はない。場内の排水は、構造上道路側溝に入ることはない。

遊佐町：大雨が降ったときに、関係者が合同で現場を確認することとしたい。

(3) 交通安全対策について

(質疑事項)

委員：最近になってマナーが悪くなったとの、地域の人たちの声が多い。中村と袋地の間で、ダンプが徐行しない、すれ違うときに寄らないことが多い。

川越工業：会社に直接電話もあった。現場に引き取りに来てもらった会社のように。徐行と乗用車等の優先を指示した。

(4) その他

川越工業：この会を踏まえて、今後も謙虚に対応していきたい。今後ともご意見をいただいて、改善できるところに対応していきたい。

川越工業：この委員会は計画の遵守を確認することが目的と考えているので、今後ともよろしくお願ひしたい。

委員：現場の形状は日々変わるので、一つひとつその都度対応すべきと思う。随時やれることはやっていただきたいと思う。

委員：泥水がでるのは理由があると思う。きちっと改善してでないようお願いしたい。

委員：道路が壊れたときは、どう対応しているのか。

川越工業：去年、袋地～白井間で崩れたところがあり、会社で復旧した。発見したときに連絡いただければ町と協議して対応する。

(5) 次回監理委員会について

事務局：11月頃に行いたい。協議を踏まえ、大雨が降ったときに急遽集まっていたくともあると思う。

担当・問合せ

企画課企画係 ☎ 72-4523

